

小学校第3学年 学級活動学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木)第2校時

指導者 教育センター所員 中武 友子

題材 「1年生といっしょに『みんな笑顔フェスタ』をしよう」

子供の姿・願い

本学級の子供たちは、学級目標を「自分大すき 友だち大すき 気づき考え行動しよう」と定め、目標に近付けるように日々の生活を送っている。子供たちは、昨年度までの自主的・実践的活動の経験は少ないものの、担任の指導を仰ぎながら、学級会や学級集会活動、係活動等を積み重ね、楽しみながら取り組んでいる。

1学期末、子供たちは、「みんなが笑顔になる集会をしたい」という思いで学級会を開き、集会のプログラムや役割を決定した。学級会後は、5つのグループに分かれて準備を行い、集会の成功に向けて活動した。実践活動後の振り返りの場「あいあい会議」では、「進んで働く」「協力する」「挑戦する」「意見を出す」の4つの価値に気付いて「3の○の宝」と決めた。また、2学期当初に設定した「係がんばり週間」において、「役割を果たす」も「3の○の宝」として増やすことができた。さらに、今後も「宝を使ったり増やしたりしたい」という思いをもっている。

全員に役割がある学級集会活動や係活動を行い、活動の楽しさを実感した子供たちは、今回は、1年生と一緒に集会を開き、1年生を楽しませたいという願いをもっている。

教師の願い

本題材は、子供たちが1年生のことを考えながら、みんなが楽しめる集会を計画・運営する活動である。「1年生のために」という1つの目標に向かって学級全体で協力することで、学級集団がまとまっていくことを目指す。学級会では、この集会についての思いや願いを伝え合う時間を十分にとるために、集会の内容と工夫についてのみ話し合わせ、役割決めについては、学級会後に取り扱う。学級会終了後速やかに計画委員会を開き、決まったことを基に実践に向けて必要な係を考え、提案させる。その後のアンケートで、「自分のよさを生かせる係」

「挑戦したい係」という視点で役割を選ばせ、第2の係として担わせる。自分の役割を果たすために、自主的に活動することを通して、自分のよさや可能性に気付かせたい。

また、互いに、自分の役割を果たしたり個性を発揮したりした場面や活動を「よさ色通帳」に記録させる。そのことで、本集会の実践における活動の価値に気付かせていきたい。

本題材を通して「1学期の集会で生まれた『3の○の宝』を使ったり、もっと増やしたりすること」を意識して取り組ませ、その後に、「あいあい会議」の場で振り返らせる。そこで、自分たちの活動のよさを実感させ、自己有用感を感じさせたい。

- 学級生活の充実・向上に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に異年齢との集団活動に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)
- 楽しい学級生活をつくるために話し合い、1年生が楽しむ集会の在り方や、係のまとまりなどについて考え、判断し、協力し合って実践している。(思考・判断・実践)
- 1年生を楽しませたいという願いでスタートした活動を振り返りながら、自他のよさを認め合い、活動のよさを理解することができる。(知識・理解)

活動の流れ(全4時間+ショート)

過 程	子供の活動(教師の働き掛け)	期待される子供の反応	時配
つかむ	・議題カードでの提案(提案の奨励) ・計画委員会による議題の決定(議題決定に向けての支援) ・話し合い活動の準備(司会グループの指導)	・学級目標達成に向かいたいね。 ・自分達だけでなく、1年生も一緒に集会をしたら、もっと笑顔になれるかな。	ショート
話し合う	・話し合い活動(進行への助言)	・〇〇をすると、1年生も楽しめそうだな。 ・〇〇をして、1年生を笑顔にしたいな。	1
実践する	・準備(個や集団への賞賛) ・学級集会活動(個や集団への賞賛)	・もっと〇〇を工夫したいな。係で昼休みに集まって頑張ろう。 ・お互いに声を掛け合って会を進めよう。	2+ショート
振り返る (本時 4/4)	・自他の肯定的評価活動(個への価値付けと意欲付け) ・学級のよさの決定(集団への価値付けと意欲付け)	・「進んで働く」という「3の〇の宝」を使ったね。 ・「下級生に優しくする」という「3の〇の宝」が増えたね。 ・新しい宝を使って活動すると、3の〇はもっといい学級になれそうだよ。	1

本時の目標

- 「みんな笑顔フェスタ」における計画から実践までの活動を振り返り、自分や友達の活動のよさを見つけることができる。(思考・判断・実践)
- 「みんな笑顔フェスタ」を通して見つけた活動のよさを学級文化として選び、これからの生活において生かそうとする意欲をもつことができる。(関心・意欲・態度)

本時の視点

本時は、1年生を招待し、「みんなえがおフェスタ」を行った子供たちに、計画から話し合い活動、実践活動までの一連の活動を肯定的に振り返る活動を通して、みんなで協力する心地よさや下級生のために活動する楽しさを感じ取らせることをねらいとしている。

まず、活動中の写真を見せて一連の活動を想起させる。次に、係ごとに『係あいあい会議』をさせ、「学級の宝」を観点として、自分達の活動のよさを振り返らせる。自分達の活動は、現在の「3の〇の宝」である「役割を果たす」を「使う」ことができたか、また、宝候補である「やさしくする」「よさを生かす」「声をかける」「ありがとうの気持ちをもつ」「1年生への思いやりをもつ」の中で「増やす」宝はないかを検討させることで、自分達の活動のよさに気付かせる。その際、実践活動中の帰りの会で記録している「よさ色通帳」を基に振り返らせ、より具体的な価値が出されるようにしたい。係ごとに話合った後、学級全体で『みんなであいあい会議』を行い、学級の高まりを喜び合いたい。最後に、同じ係の友達に対して、「あいあいメッセージ」として、友達の活動のよさを入れた手紙を書かせ、届けさせる。友達にもらったメッセージを読むことで、自分も集会活動の成功に向けて貢献できたことに気付かせ、自己有用感を感じさせたい。

本時の展開

子供の活動	教師の働きかけと評価
1 計画・話し合い活動・実践(準備活動と集会活動)の写真を見て、実践活動までの学習を思い起こす。	- 計画・話し合い活動・実践の様子が分かる写真を利用して、これまでの学習を想起させる。 - 提案理由を確認し、活動の成功のために、一人ひとりのよさが発揮されたことに気付かせる。
『あいあい会議』で「みんなえがおフェスタ」の宝を増やそう！	
2 係ごとに『係あいあい会議』をする。 「3の○の宝」を使えたこと(ピンクハート)を紹介し合う。  △△さんは、昼休みに進んでプレゼントを作っていました。  〇〇係は「役割を果たす」宝を使えました。 「3の○の宝」以外で見つけたよさ(黄色ハート)を紹介し合い、「係のよさ」にするか話し合う。  ◇◇さんは、1年生にたくさん声をかけていました。とてもやさしかったです。  〇〇係の宝に「やさしくする」を増やしましょう。	- 自他の活動のよさを「よさ色通帳」を見ながら、紹介させる。 - 係ごとに、「係の宝カード」を作らせる。よさを見つけた友達の名前を書いた付箋を宝ごとに分けて貼らせることで、「3の○の宝」が使われたことを確認させる。 - 宝の候補について見つけたよさを紹介し合い、「係の宝」として挙げるか吟味させる。 【思考・判断・実践】 ◇実践活動までを肯定的に振り返り、友達の活動のよさを紹介することができる。 (よさ色通帳、係の宝カード、発言) A 見つけた友達の活動のよさを3つ紹介することができる。 B 見つけた友達の活動のよさを2つ以上紹介することができる。 ◆「よさ色通帳」を見ながら助言する。
3 学級全体で『みんなであいあい会議』をする。 - 係ごとに、「3の○の宝」を使えたことを紹介する。 - 紹介し合った「係の宝」の中に「3の○の宝」とするものがあるか話し合う。	- 係ごとに作った「係の宝カード」を黒板に掲示させ、多くの係で「3の○の宝」が使われたことを可視化することで、学級の成長を確認させる。 - 新しい視点での「学級の宝」を増やすことで、活動を通した学級の成長を感じとらせる。 - 友達へのメッセージに加え、これから自分や学級をどうしたいかという内容を入れて書くように伝える。
4 本時を振り返って「あいあいメッセージ」を書く。  〇〇さんは、1年生に優しく声を掛けていてよかったよ。わたしも、たくさんの「3の○の宝」を使えていてよかった。これからは「3の○の宝」を使っていきたいな。	【関心・意欲・判断】 ◇学級集団としての活動の成果を確認し、これからの学級生活の向上に意欲をもつことができる。(ワークシート) A 友達の活動の成果を認め、今後の生活に生かそうとする気持ちと今後の学級の姿を記すことができる。 B 友達の活動の成果を認め、今後の生活に生かそうとする気持ちを記すことができる。 ◆「3の○の宝」「係の宝」についての板書を見ながら助言する。

…評価
 判定基準…A十分達成、Bおおむね達成
 ◆…達成不十分な児童への支援